

この間、大企業は内部留保を260兆円もため込んでいますが、一方で増税と社会保障の切り下げが続き国民のくらしはより厳しくなっています。

さらに、政府・民主党は、自民・公明との「オール与党」態勢で、大企業は1円も負担しない消費税を2010年代半ばに10%に引き上げることを明言。年金支給開始年齢の引き上げと給付額の引き下げ、医療費負担増、介護制度改悪など社会保障改悪を同時にすすめようとしています。

昨年3月11日の東日本大震災、東京電力福島第一原発事故以来、日本共産党西宮市会議員団は「災害に強い福祉のまちづくり」「原発のない安全な社会」を一貫して提起してきましたが、ますます国民の命と暮らしを守る日本共産党の役割は重大です。

今年も市会議員団は、力いっぱいがんばります。

上田さち子

あまりにもひどい政治に怒りをもちながら新年を迎えるました。「原発から、自然エネルギーへの転換を求める意見書」が、9月議会で全会一致採択されたことから、西宮から「原発ゼロ」のうねりをつくりていきたいと思います。

☎ 35-2813

佐藤みち子

今年は、公的保育制度を破壊し、子どもをもうけの対象にする「子ども子育て新システム」がどうなるか、正念場です。子育てしているみなさんとしっかり連帯して、阻止するためにがんばります。

☎ 42-2856

まつお正秀

世界は核兵器廃絶に大きく動き出しています。そのためにも政府に核兵器禁止条約を結ばせなければいけませんし、自治体からその流れを作らなければなりません。今年はさらに核廃絶と平和の取組みを強めていきます。

☎ 73-0775

今年もがんばります

2012年

杉山たかのり

今年は、文化やスポーツの振興に力を尽くします。必要な施設を整備し、文教住宅都市にふさわしいまちづくりに取り組みます。そのためにも、市民のくらしと営業をまもり、原発ゼロ、ストップ消費税でがんばります。

☎ 35-1682

野口あけみ

あろうことか、郵送による陳情は「審査しない」などということが「議会改革」の名の下で議論されています。今年も、住民が主人公の真の「議会改革」をめざし、力いっぱいがんばります。

☎ 34-7329

西宮市新病院基本構想(素案)が発表されました

西宮市は市立中央病院移転新築問題で基本構想(素案)を明らかにしました。移転先については、9月に有職者で構成される「検討委員会」が、阪急西宮北口駅近くの県立芸術文化センター第2駐車場していたのを、アサヒビル西宮工場跡地(津門大塚町)に変更するとしています。今後、病院経営の在り方も含め、素案についてパブリックコメントで市民の意見も聞いて、論議することになります。

